

No.139

令和8年10月1日発行

診断ひょうご

一般社団法人 兵庫県中小企業診断士協会 発行者 塔筋 幸造

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-8-4 神戸市産業振興センター8階
TEL (078) 362-6000 FAX (078) 361-8722 URL: <https://www.shindan-hg.com>

「中小企業診断士の日」記念イベント

未来を創る ビジネスプランコンテスト2026

最終プレゼンテーション・表彰式 52チームの頂点を決める

兵庫県内の大学生を対象とした「未来を創るビジネスプランコンテスト2026」の最終プレゼンテーション・表彰式を、今年度も「中小企業診断士の日」記念イベントとして11月21日(土)に開催します。

今年度はエントリーいただいた52チームから、41チームにご応募いただき、厳正な審査の結果、以下の6チームをファイナリストとして選出しました。

◇兵庫芸術文化観光専門職大学：サブスク型商品『気づいたら、神鍋づけ。』の販売

◇大手前大学：空き家問題に貢献する新サービス『カエルーム』

◇兵庫県立大学：えにし 高齢者の仕事と暮らしを支える純喫茶

◇甲子園大学：篠山ファミリーベース～片道1時間、親子の第2のふるさとづくり～

◇神戸市立工業高等専門学校：AI・打音を活用した街路樹倒木診断システム
～AIで街路樹点検を効率化し、安全な道路環境を実現する～

◇神戸学院大学：PLATIS：教育を資産に変える学習定着アプリ

大賞および特別賞は、来場者お一人おひとりにも審査員となっただき、投票に参加できる仕組みとしています。あなたも、審査員のお一人になっただきたいです。6チームのプランには、兵庫県の将来を担う若者ならではの発想や想いが込められており、私たち中小企業診断士にとっても多くの学びや気づきを得られる内容となっています。ぜひご参加ください。



未来を創るビジネスプランコンテスト2026
実行委員会委員長

石川 梨絵子

実行委員

浅野雅己、稲垣賢一、上田育功、
大井秀人、岡文偉、笠原裕平、
片上拓也、岸本貴文、澤井ゆかり、
土屋達郎、富永泰斗、富松誠、
友武篤志、藤原康平、松元孝宣、
森本太、福永栄一

実施概要

日時 2026年11月21日(土)
13:00 開始

会場 ハーバーホール
(神戸市産業振興センター3階)
神戸市中央区東川崎町1丁目8番4号
(神戸ハーバーランド内)

定員 200名限定(先着順)

参加方法 右のQRコードから
応募フォームへアクセスしてください



中小企業の生産性向上を実現する事業性評価ツールの活用モデルの調査研究

～兵庫県における金融機関との連携支援への新提案～

はじめに

主要な事業性評価ツール(ローカルベンチマーク、経営デザインシート、知的資産経営報告書、技術・経営力評価報告書等)の活用実態と効果を県内の地域金融機関・中小企業・専門家へのアンケートやインタビューと事例分析を通じて調査した。事業性評価の精度向上へのポイントや留意点、また今後のあるべき姿を検討したうえで本報告書を作成し、地域金融機関・支援企業・支援機関を対象に提言する。これらの一連の研究活動を通じて、できるだけ多くの金融機関関係者との接点を増やし、当協会との関係性強化のきっかけとしたい。

【事業性評価の定義】

事業性評価とは、企業の財務情報だけに依存せず、「ビジネスモデル」・「経営者の能力」・「市場環境」・「将来性」などを多面的に評価し、融資判断や支援方針に活かす取り組みである。元金融庁地域金融企画室長であった日下智晴氏は、企業診断ニュース2019年8月号で、事業性評価を以下の通り定義している。

金融機関の金融仲介機能において情報生産を行っているが、その品質の決め手となるものを「事業性評価」と呼んでいる。知的資産経営報告書や経営デザインシート等の作成により、担保・保証人に依存しない事業性評価に基づき融資を推進するとともに、広義では金融機関のコンサルティング機能の強化を推進することを意味する。

1. 調査結果に基づく課題の構造化

本調査研究において、「金融機関向けのアンケート調査」・「金融機関向けインタビュー調査」・「中小企業診断士向けインタビュー調査」を実施する。これらの調査から得られた結果を分析し、以下の課題を把握する。

(1) 事業性評価プロセスに存在する3つの断絶

① 目的の断絶

地域金融機関の現場では様々な事業性評価ツールが活用されているが「枠を埋めること」「書類を完成させること」や「形式的な提出」に重点を置く形で運用され、本来の目的である行動変容や学びの促進

が置き去りにされてしまうケースが少なくない。

② ツールの断絶

「事業性評価ツール」による対話の促進、現状認識、長期ビジョンの策定に向けた動きは、経営のあり方を認識する上で有効である。しかし、金融機関の与信部門が直面するリスクを定量化し返済可能性を判断するという実務的なニーズとは一致していない。

③ 支援の断絶

金融機関は、評価結果が「報告書」や「提出物」としてのみ扱われ、その後の行動変容につながらないことに課題意識を持っている。事業者側もまた、評価を受けても実行段階での助言や伴走が得られず、結局は日常業務に埋没して改善策が棚上げになる。

(2) 地域金融機関が抱える3つのボトルネック

① リソースのボトルネック

「一人三役」をこなし、100社以上を担当する金融機関担当者の圧倒的な「時間不足」がある。これが全ての元凶となっている。

② スキルのボトルネック

高度な対話能力や戦略策定能力が求められる一方、アンケートで 83.2%が指摘した「行員の能力向上」という切実なニーズと、金融機関が頼る専門家の「スキルのばらつき」という「人の課題」がある。

③ システムのボトルネック

伴走支援のような時間のかかる活動を正当に評価する金融機関内部のインセンティブ制度や質の高い専門家との連携を円滑にする地域的な「仕組みの不在」がある。



2. 事業性評価の活用モデルの提案

調査結果により把握できた事業性評価プロセスに存在する3つの断絶と地域金融機関が抱える3つのボトル

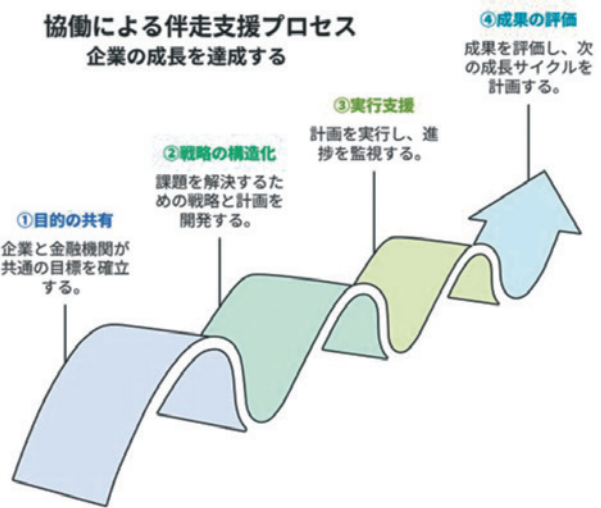
ネックに対して、具体的な「処方箋」を提示する。事業性評価を単なる形式的な「評価」から、中小企業の具体的な「行動変容」と「生産性向上」へと繋げるための実践的な活用モデルを以下の通り提案する。

(1) ツールの特性に応じた戦略的活用

事業性評価ツールには、それぞれ異なる特性と最適な活用場面が存在する。企業の成長フェーズ(創業期・成長期・成熟期・変革期)に応じた事業性評価ツールの活用を推進する。

(2) 協働による伴走支援プロセス

支援企業の課題に応じて最適な支援ができるように、三者間(支援企業・金融機関・専門家)の情報共有を円滑にし、中立的なプラットフォーム機能を整備する。また、支援機関(商工会議所・商工会・行政の中小企業支援機関・よろず支援拠点・活性化協議会・事業承継引継ぎ支援センター等)の連携を強化する。



(3) AIの活用

事業性評価の現場が抱える根源的な課題、すなわち「リソース(時間)」と「スキル(人材)」のボトルネックは、担当者や専門家の努力だけで解決するには限界がある。しかし、近年の急速な技術革新、特に生成AIの進化は、この構造的課題を乗り越えるための強力な処方箋となり得るものである。

3. 行政に対する政策提言

本調査研究事業の総括として、兵庫県という地域全体で最大化するために、支援側に今、何を求められているのか、具体的な方向性を以下の通り提言する。

(1) 伴走支援プロセスの標準化と普及

支援の型を確立し研修等で普及させ、属人性を排し、継続的なモニタリングを可能にする。地域金融機関の現場担当者の負担を軽減し、旧来型モデルからの脱却を図る。

(2) 質の高い専門人材の育成と可視化

無形資産評価能力や高度な対話力を持つ専門家を育成・認定するプログラムを整備する。信頼できる専門家プールを構築し、スキルと実績を可視化する。

(3) 連携を円滑にするプラットフォーム機能の構築

支援企業の課題に応じて最適な専門家をマッチングし、三者間(企業・金融機関・専門家)の情報共有を円滑化する中立的な司令塔機能を整備する。手探り状態から脱却し戦略的連携を推進する。

(4) 支援企業と金融機関の負担を軽減するインセンティブの設計

支援企業が伴走支援を活用しやすくなるよう専門家派遣費用の一部助成など経済的支援策を講じる。金融機関が伴走支援活動を正に評価する新たなインセンティブも地域全体で検討する。

(5) 成功事例の創出と情報発信

これらの仕組みを通じて、生産性向上や経営変革を実現したモデルケースを積極的に創出する。その成功ストーリーを「兵庫モデル」として、具体的に熱量をもって発信し、地域全体の機運を醸成する。



【調査研究メンバー】※順不同

西口延良、森下勉、原一矢、上田育功、富松誠、藤原正幸、西本文雄

セミナー補講 会場の声に応じて

AIと日本語で"話しながら" HP・LPを作る「バイブコーディング」入門

村上 和希

はじめに——

16時、誰も触れていないPCが動き出した

7月25日の第1回スキルアップセミナー「最新AI活用術～『使う』から『任せる』へ～」には、多数の会員の皆様にご参加いただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

終盤の実演では、「毎週土曜16時に経費処理を自動実行する」という予約を朝のうちに仕込んだPCを壇上に置き、16時——誰も触れていない画面が動き出し、AIが領収書を読み取り、勘定科目の確認だけを人に求め、仕訳を完成させる様子をご覧いただきました。人の仕事は「承認」だけ。「任せる」の到達点として、記憶に残していただけたなら幸いです。

セミナー後にいただいた"宿題"

一方で、セミナー終了後、受講者の方から「ホームページ(HP)やランディングページ(LP)の作り方も教えてほしい」という声をいただきました。考えてみれば、HPは顧問先支援のためだけのものではありません。診断士自身にとって、自分の専門性と実績を伝える必須のマーケティングツールです。ところが意外にも、自身のHPを持っていない診断士も少なくない——本稿は、その両方に効く補講です。

キーワードはバイブコーディング(Vibe Coding)。

プログラムを書くのではなく、AIと日本語で対話しながらWebページやアプリを作ってもらう手法です。OpenAI共同創業者のAI研究者アンドレイ・カルパシー氏が2025年に提唱し、英コリンズ英語辞典の「2025年の言葉」に選ばれるほど世界的に定着しました(vibe=雰囲気。「こんな感じで」と伝えながら作る、くらの意味です)。

仕組みはセミナーの「4点セット」のまま

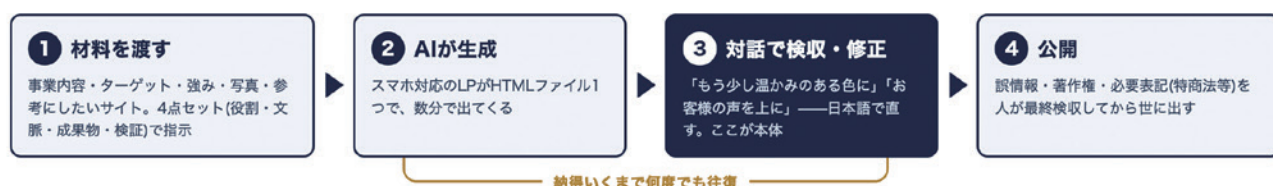
「コードが書けないと無理では」と思われるかもしれませんが。実は、セミナーでお伝えした任せ方の型——①役割、②文脈、③成果物、④検証の4点セット——がそのまま使えます(表1)。HP作成は特別な技術ではなく、「成果物がWordではなくWebページになっただけ」なのです。

表1 4点セットをLP作成に当てはめる

4点セット	LP作成での指示例
①役割	あなたは中小企業のWeb制作が得意なデザイナー兼コピーライターです
②文脈	事業内容・ターゲット・強み・参考にしたいサイトを渡す
③成果物	スマホ対応の1枚もののLPを、HTMLファイル1つで
④検証	事実と異なる記載をしない。キャッチコピーは根拠とセットで提案する

図1 バイブコーディングの4ステップ

プログラムは書かない。日本語で材料を渡し、画面を見ながら対話で仕上げる



※セミナー第1部「任せ方の型(4点セット)」がそのまま使える。成果物がWordではなくWebページになっただけ。

進め方は図1の4ステップです。ポイントは③で、出てきたページを見ながら「もう少し温かみのある色に」「お客様の声を上に」と日本語で直していく——この対話こそがバيبコーディングの本体です。

診断士だからできる提案になる

支援の現場では「HPを作りたいが業者に頼む予算がない」「何を載せればよいか分からない」という相談が絶えません。バيبコーディングを使えば、ヒアリングのその場で「たたき台」を作り、経営者と同じ画面を見ながら磨くことができます。

ここで効くのが診断士の本業です。ページの出来栄を決めるのは、デザインではなく「誰に・何を・どう届けるか」というマーケティングの設計、つまり②文脈の質です。戦略を語れる人がAIに材料を渡すのが最も速い——コーディングをAIに任せられるようになった結果、私たちの棚卸し力と経営視点こそが制作の中心になった、という逆転が起きています。

注意点——公開物こそ「検収」を

ただし、HPは世に出る成果物です。誤情報の混入、写真・文章の著作権、業種によって必要な表記(特定商取引法等)は、必ず人が検収してください。決済機能や凝ったシステムまで踏み込む場合は、専門業者との連携が現実的です。「作って見せる」第一歩までなら、月3,000円程度の有料版AIで今日から始められます。

むすび——「任せる」の先の「作る」へ

セミナーでは「使う」から「任せる」へ、とお話しました。その先にあるのが、AIと「作る」です。まずはご自身の事務所のLPを1枚、AIと話しながら作ってみてください。それが顧問先に見せる次の提案の「実物」になります。会員の皆様、そして日々事業者に伴走されている支援機関の皆様の現場で、本稿が「月曜から動く」一歩になれば幸いです。

本年度・第1回スキルアップセミナー

「最新AI活用術 ～「使う」から「任せる」へ～」を開催

去る7月25日(土)、当協会主催の本年度第1回目のスキルアップセミナーを開催しました。

定員を超える参加希望者があり、急遽規模を拡大しての実施となりました。参加者からは「IT専門家でなくてもここまでできるという勇気をもらえました。参加して

本当に良かったです」「AIの進化に合わせた使い方の実例を学べて、大変参考になった」などの声があり、意義あるセミナーとなりました。本稿が業務に役立つものとなれば幸いです。



新研究会発足のお知らせ

総会でも報告がありましたように、昨年度、新たな研究会が発足しました。

ここでは、「ウェルビーイング経営研究会」についてご紹介します。活動に参加を希望される方、興味のある方は研究会にお問合せください。

ウェルビーイング経営研究会(毎月第1木曜日)

ウェルビーイング経営研究会は、「従業員の幸福」と「企業の成長」の向上を目指した「人的資本経営」による、中小企業経営の推進支援研究活動を行います。

企業経営にウェルビーイングを活かす目的は、従業員の幸福を高めること自体だけでなく、その結果として企業の持続的な成長や競争力の向上につながることにあります。

ウェルビーイング経営では、従業員を「労働力」としてではなく、「企業の成長を支える人的資本」と捉えます。

そして、従業員のウェルビーイング向上～エンゲージメント向上～生産性・イノベーション向上～顧客満足・業績向上～企業価値向上、という好循環を目指します。

会員数

8名(2026年7月末現在)

会長名

岡部清一

入会について

推薦者を通じて岡部までご連絡お願いいたします。

入会条件

- ・兵庫県中小企業診断士協会会員であり、本研究会員より推薦を受け、本研究会員全員の同意を得た者
- ・研究会活動を理解し、相互に敬意を持ち仲良く、積極的に参加する意欲があること
- ・「ウェルビーイング」について、研究する意欲を持っていること



問い合わせ先

岡部清一 20181106letitbe@kjd.biglobe.ne.jp

調査研究事業は報告書が公開されています



当協会の会員事業活動に「調査研究事業」があります。令和7年度は「中小企業の生産性向上を実現する事業性評価ツールの活用モデルの調査研究～兵庫県における金融機関との連携支援への新提案～」、「現在の創業支援事業内容と創業者のニーズとのギャップ調査をもとにした効果的な創業支援モデ

ルについての提言」の2つのテーマが承認され、それぞれ成果を得ることができました。それぞれの成果は、本年度の理論政策更新研修のテーマとして採用され会員をはじめ多くの中小企業診断士の知見となりました。

上記の調査研究事業をはじめ、過去の研究成果は報告書として閲覧が可能です。QRコードによって該当するサイトにアクセスが可能ですので、ぜひご覧ください。



協会公式サイト▶

協会だより

協会 YouTubeチャンネルに新企画が登場

これまで、協会の活動やPR動画を掲載してきましたが、協会YouTubeチャンネルに、新しい企画が登場しました。毎回、魅力ある会員にスポットを当て、インタビューで人となりを探る「中小企業診断士の魅力に迫る」にご注目ください。診断士の仕事や資格のメリット、受験の苦労話など、興味ある話が次々と飛び出します。下記のサイトで順次更新をしていきます。どうぞご期待下さい。



ニュース

NEWS

■理論政策更新研修を開催

当協会主催の本年度「理論政策更新研修」は、8月28日(金)、9月4日(金)、9月12日(土)の日程で3回を実施しました。新しい中小企業政策のほか、中小企業の生産性向上支援、中小企業の伴走支援をテーマとして、当協会会員である中小企業診断士が中心となって解説しました。実践に基づく知見が数多く紹介され、意義ある研修会となりました。

■新入会員ガイダンス&懇親会を開催



去る6月20日(土)、本年度の新入会員を対象に、協会活動、委員会活動や研究会、同好会などを説明・案内する「新入会員ガイダンス」が実施さ

れました。また、本会に続いて懇親会が開かれ、既存会員との親睦を深めました。参加した新入会員の中には、委員会や研究会への参加を早々に決める方もあり、協会活動への理解を深めることができました。

■2027年 新年会開催のお知らせ



恒例となっています当協会主催の新年会について、実施概要が決まりました。協会関係者、会員が一堂に会し、お互いの理解・親睦を深める機会となります。多数の参加を期待しています。

日時 2027年1月16日16時～

会場 エスタシオン・デ・神戸

委員会報告

6月～9月

● 会員研修委員会

委員会開催日	主な議題
6月22日(月)	スキルアップセミナーに関する企画検討
7月27日(月)	スキルアップセミナー実施報告、進捗報告
8月24日(月)	Wasshoi2026に関する企画検討、進捗報告
9月28日(月)	オープンセミナーに関する企画検討、進捗報告

● 広報委員会

委員会開催日	主な議題
6月24日(水)	ホームページ用動画撮影について・ホームページ改修案件について
7月22日(水)	ホームページ用動画撮影について・ホームページ改修案件について・診断ひょうご編集内容について・協会行事スケジュールについて
8月26日(水)	ホームページ用動画撮影会(若井副会長)・ホームページ改修案件について・会員情報の更新について・連絡事項
9月30日(水)	ホームページ用動画撮影会(予定) ホームページ改修案件について(予定)

● 総務委員会

委員会開催日	主な議題
6月2日(火)	総会の振り返り、理論更新研修、新入会員ガイダンス・交流会、経営実務従事
7月7日(火)	新入会員ガイダンス・交流会の振り返り、理論更新研修、経営実務従事、新年会
8月4日(火)	理論更新研修、経営実務従事、新年会、診断士の日
9月1日(火)	理論更新研修、経営実務従事、新年会、診断士の日

総務委員会では、6月～8月にかけて、新入会員ガイダンス・交流会や理論更新研修、経営実務従事など、会員向け事業の運営を中心に協議を進めた。新入会員ガイダンス・交流会については、開催準備から当日の運営、終了後のアンケート結果を踏まえた振り返りまでを行い、次年度に向けた改善点を整理した。理論更新研修については、開催に向けた役割分担や運営体制を確認し、円滑な実施に向け準備を進めた。また、経営実務従事の参加状況や運営方法について確認するとともに、令和9年新年会の会場・内容等について検討を進めるなど、今後の協会行事についても継続的に協議した。

● 受託開発委員会

委員会開催日	主な議題
6月10日(水)	今年度受託開発案件の実績予想 今年度受託新規案件の開発検討
8月12日(水)	今年度受託開発実績の実績予想 今年度受託新規案件の開発検討

今年度の受託開発目標45百万円について、7月末時点で42百万円の案件を確保済みです。目標達成に向けて、営業活動に尽力中です。

今後の予定

セミナー・催事

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
11月3日(火・祝)14:30～16:30	神戸市産業振興センター1102	Wasshoi「若手診断士向けワークショップ&交流会」	森本翔太氏・友武篤志氏
11月 6日(金)18:30～20:30	オンライン開催(Zoom)	実力養成講座「ベテラン診断士に学ぶ経営診断報告書の作成ノウハウ」第1回	平山知明氏
11月25日(水)18:30～20:30	オンライン開催(Zoom)	実力養成講座「ベテラン診断士に学ぶ経営診断報告書の作成ノウハウ」第2回	富松 誠氏
11月28日(土)13:30～16:30	神戸市産業振興センター802+803	選ばれる診断士のための対話術	飯山咲朗氏

日 時	場 所	テ ー マ	日 時	場 所	テ ー マ
令和9年1月16日(土)	エスタシオン・デ・神戸	令和9年新年会	令和9年5月27日(木)	メリケンパークオリエンタルホテル	令和9年総会(予定)

※連絡先: (一社)兵庫県中小企業診断士協会事務局 info@shindan-hg.com

研究会スケジュール

問い合わせ先: 078(362)6000

● 診断技術向上研究会

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
10月8日(木)	神戸市産業振興センター902号室	(仮称)ひょうご仕事と生活センターの「ひょうご仕事と生活センター」支援制度とWLB取組支援について	岡村様・安田様

※開催日: 原則第2木曜日 時間: 18:30～20:30
※連絡先: 代表 岡澤 康之(おかざわ やすゆき) yasu1721@gmail.com

● HOO経営研究会

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
		予定なし	

代表 塔筋 幸造 ※開催日調整中 ※連絡先: 塔筋 幸造 kozo@kmba.co.jp

● プロコンスキル研究会

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
11月9日(月)	神戸市産業振興センター	第107回 支援事例等による実践スキルの研鑽	①茂呂晃良氏、 ②西口竜司氏

※開催日: 原則奇数月の第2月曜日 時間: 18:30～20:30
※連絡先: 福島正章 kakehashi.office.01@gmail.com、長岡一太 nagaoka.ichita@gmail.com
(参加はプロコン育成塾修了者と講師に限りです)

● 青年部会

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
10月5日(月)	中央区文化センター & Zoom	コンサルタントのセルフブランディング ほか	全 員
11月2日(月)	中央区文化センター & Zoom	企業の支援方法・スキルの共有/班別活動報告 ほか	全 員

※開催日: 原則第1月曜日 時間: 19:00～21:00 ※参加資格: 50歳未満の会員
※連絡先: 小松 茂樹 shigeki.komatsu@bizcareer.jp

● SDGs先進交流会

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
10月16日(金)	中央区文化センター	SDGs勉強会 (一般参加可)	福島診断士、久保井診断士、 富松診断士、森本診断士

※開催日: 隔月開催: 曜日検討中
※連絡先: 幹事 森本 太 futoshi.morimoto1981@gmail.com

● SEIZO-BU Lab. 一製造業研究会

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
10月13日(火)	Zoom	[第6回]生産性向上事例の事例研究 4選③	松本泰良氏

※開催日: 毎月第2火曜日 時間: 18:30～20:30(8、1月を除く)
※連絡先: 代表 西本 文雄 office@seizo-bu.com

● ものづくり&SCM研究会

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
10月3日(土)	中央区文化センター	トヨタ生産方式で学ぶ改善の極意	佐久間慎二氏
11月7日(土)	未定	①書籍紹介 ②事例発表	①日野悠介氏 ②舩久正氏

※開催日: 原則第1土曜日 時間: 14:20～17:00(1、5、8、12月除く)
企業内・開業問わず、経営全般の幅広い情報交換と相互研鑽を目指しています。製造業以外の方も多数参加しています。 ※連絡先: 三村 光昭 QZE02753@nifty.com

● Shobai Lab. (商業研究会)

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
10月15日(木)	けいえいまち(阪神西宮)	事例研究	会 員

※開催日: 毎月第3木曜日 時間: 18:30～21:00
※連絡先: 代表 林 直樹 nk.hayashi@iris.eonet.ne.jp

● 事業性評価研究会

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
10月28日(水)	神戸市中央区文化センター 1103号室+1104号室	企業価値担保権の理解を深める	会 員 西口延良氏

※開催日: 毎月第4月曜日 時間: 18:30～20:30(4、8、12月除く)
※連絡先: 代表 西口 延良 ANC11775@nifty.com

● ひょうごデジタル経営研究会

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
10月27日(火)	Zoom	調整中	生成AI活用研究分科会

※開催日: 毎月第4火曜日 時間: 19:00～21:00
※連絡先: 代表 山上 和男 ymgmkzo@gmail.com

● 中小企業GX推進研究会

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
10月21日(水)	Zoom	未 定	選定中

※開催日: 毎月第3水曜日 時間: 18:30～20:30
※連絡先: 代表 加藤 慎祐 MLD11291@nifty.com 又は info@kato-rmc.biz

● ウェルビーイング経営研究会

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
10月1日(木)	神戸市産業振興センター804会議室	未 定	未 定

※開催日: 毎月第1木曜日 時間: 18:30～20:00
※連絡先: 代表 岡部 清一 20181106letitbe@kjd.biglobe.ne.jp

※各スケジュールは変更になることがあります。

編集後記

今年も「中小企業診断士の日・記念イベント」として県下学生によるビジネスプランコンテストを実施します。いずれも優れたアイデア揃いの中、52チームのライバルの中から選ばれた6チームがベストの発表を競います。ぜひ現場で審査にご参加ください。(玉)